

トークショー『記憶と記録の掘り起こし〜わしらは好きな事ばかりやってきた〜』
2014年 12月5日(金)
ゲスト：右から坂田 明、茂山あきら、大野木啓人(敬称略)



世界の大地震の20%、火山の10%は日本が受け持っている。古代より先人たちは、その記録と記憶を残してきたが、我々は傲慢になり、また想像力(創造力)の欠如により、大きな犠牲を払っている。天災あるいは人災等の日付は当事者にとって、年月が経とうが、まるで昨日の出来事のように、魂に深い楔が打ち込まれている。しかしそれ以外の人たちの日付は単に記号化している。

記憶の風化、無知からくる無関心、そして時代の変遷とともに当事者たちも存在しなくなる。しかし忘れてならない日付(記録)は史実の記録だけでなく、記憶による表現も必要だと考える。

一見、何の関わりも持たない、能天気なオブジェ群が日付と関わる事で、新たな記憶が生まれる。記録と記憶の掘り起こしは、単に現象を見つめるだけでなく、そこに何があったのか、地形・気象・人の思惑・経済等々、既成概念を外れて想像・創造する事が大事である。

記録と記憶、未来への礎、教訓として、今以上クリエイティブに構築しなければ、同じ過ちを何度か繰り返す事になる。

人間の愚かさ、傲慢さ、そして、これらに真摯に向かい合う尊さなど、再認識と共有を図りたい。

素材：FRP・木・鉄・他
制作年：二〇〇年〜二〇一四年
写真撮影：吉川譲



ギャラリー・オーブ
2014年 12月1日(月)〜12月21日(日)